



樹妙だより

No.175 2019/6.7



令和元年度緑蔭祭（2019年5月23日）

慈悲喜捨

新潟県長岡市に行った時、長岡高等学校の同窓会に偶然遭遇したことがあります。会場には、各卒業年代毎に受付が設置され、大勢の老若男女が誇らしげに、楽しそうに談笑していました。長岡高等学校は、明治維新の頃の国漢学校を前身とし、開校の経緯は内閣総理大臣であった小泉純一郎氏が、国会の所信表明演説で引用した「米百俵」の故事に由来しています。

長岡藩は、明治維新の戊辰戦争で新政府軍と戦って敗戦し、石高が三分の一以下に減らされました。食べる物にも事欠くような窮状の中、三根山藩から米百俵が贈られました。しかし、藩の次官（現在の副知事）であった小林虎三郎は、「百俵の米は食べてしまえばすぐになくなってしまふ。だが、教育に使えば明日の一万、百万俵となる」と諭し、贈られた米を全て売却して国漢学校の資金としました。

長岡市に完成した新たな国漢学校では、漢字だけでなく洋学や医学を教え、さらに町民や農民の子どもたちも入学を許可されました。一人ひとりの才能をのびし、情操を高める教育を施すという

教育方針の基で、東京帝国大学総長の小野塚喜平次や、解剖学医学博士の小金井良精、司法大臣の小原直、海軍の山本五十六元帥など、日本を背負う人物が輩出されました。

窮地に立ったとき、「時代の要請に応える学問や芸術を教え、すぐれた人材を育成する」という理想の実現に向けて行動した長岡藩のゆるぎない信念と情熱が後生に実ったのです。それは、「米百俵の精神」として、長岡市の人々に範を示し、今でも街づくりの指針や人材教育の理念となっているということです。

本校は、仏様の教えを基に、学業はもとより、人としての在り方や生き方を身につけた、よりよい人間を育てる教育を行っています。その精神は、毎朝HRで唱和する信条に示され、「明るく」「正しく」「仲よく」という、本校生徒の生活の基本になっています。

一人ひとりの生徒が、将来の目標を実現するために、苦しい時は皆で分かち合い、嬉しい時は共に喜び合える「共生の精神」を実践し、健やかに成長していけるよう、皆で樹徳教育に邁進していきます。

教頭 金安伸一



樹徳中学校・高等学校長
野口秀樹

今年度から樹妙だよりが年間7回発行となりました。年間12回に比べると、私の書くりズムが狂った様で、

なかなか自分のペースがつかめません。人間毎日の生活パターンを変えるのに抵抗があるのが良く解ります。このことから新入生のことを考えると、中学生の生活リズムから高校生の生活リズムに切り換えたこの2ヶ月彼らは大変だったのだらうと思います。でも若さは特権、頭も身体も柔軟性のある時、私とはだいぶ違う、うらやましい限りであります。

5月1日から新元号、令和元年となりました。是非、生徒達の目的達成の喜びの新時代にしていきたいと考えております。皆様には引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

まずはドイツの昔話をしたいと思います。ドイツのある王様が誰も見ていない真夜中に、町の真ん中へ大きな石をそっと置いておきました。

翌朝、酔っ払いの軍人がその石につまずいて、倒れて頭を打ちました。

「だいたい、みんなが通る大事な道にこんな石を置きやがって、ばかやろう。気をつける！」

さんざん悪口を言って立ち去りました。

しばらくして、馬で駆けてきた紳士が、大石に突き当たりそうでしたが間一髪、立ち止まって助かりました。

「ああ危ない。もう少しのところ、この石にぶつかって死ぬところであった。いたずらするにもほどがあるぞ。」

ブツブツ小言をいって去って行きました。

またしばらくすると1人の農夫が、荷車引いて通りかかりました。

「なんだい、こんな大きな石を置いて。危なくて通れやしないじゃないか」

不平たらたら、石をけて通り過ぎました。

かくして誰1人、この石を取り除く者はおりませんでした。

一ヶ月後 王様は市民をその広場に集めて訓示をしました。

「実はこの石は 私が置いたのです。しかし今日まで誰1人として公益のために取り除こうとする者はいなかった。これは私の治政の欠陥だらう。今日この石を私が取り除くことにする」。

王様みずから 石を動かしました。

するとその下から「石を片付けた者に与える」と記した袋が出て来ました。宝石と金貨20枚がその中に入っていました。(『光に向かって100の花束』高森顕徹著)

子供用のお話なのか大人を対象にしたものか、解りませんが、私達の社会でも充分ありそうな話です。場合によると私も不平と文句を言って立ち去ってしまうの1人になってしまっていたかも。そんな反省をこの話からした次第です。そして思うのは、何時の時代でも陰で社会を支えてくれているのは、この場面で石を動かそうとする少数の人々であることも事実だと思えます。

南極越冬隊に参加した調理人『かあちゃん調理隊員になる 南極ではたらく』著者の渡辺淳子さんが、昭和基地にいて感じたことを書いています。

日本では当たり前前なのが、本当は当たり前でないことを思い知った。人間1人でできることなんてたかが知れてる。自分がやらないことをどれだけの人やってくれているか、じゃあその人たちのために自分ができることは何なのか。

気象観測隊は観測が途切れないように夜中1人で除雪をしなければならぬこともある。昭和基地では除雪はやってもやっても終わりが無い。絶望感に襲われることもあるがあきらめるわけにはいかない世界。途方もない量の雪との戦いの現実。

切り口は違いますが2つの話には共通する思いを感じます。

この時代に縁あって生きている私達、この時を輝かせて次の人達に受け渡していきたい。実践している大人達も沢山おられます。私も頑張らねば。

合掌

高校総体特集！

令和元年五月十日（金）より始まった今年の県総体。本校生徒の主な活躍を紹介いたします。

卓球

- 男子学校対抗優勝
- 男子シングルス優勝 池田聡太
- 男子ダブルス優勝 池田聡太 吉野希望

- 女子学校対抗準優勝
- 女子シングルス優勝 山田真奈美
- 女子ダブルス優勝 木澤朱音 長野瑛

少林寺拳法

- 男子組演武 優勝 桑原陸人 光山佳輝
- 女子組演武 準優勝 渡邊真彩 大友梨聖
- 男子単独演武 優勝 天笠遼



相撲

- 団体戦準優勝
- 個人戦優勝 中野智基 第3位 大嶋慧斗 武井奏良



陸上競技

- 3000mSC 第1位 北村光
 - 走幅跳 第1位 齋藤琴音
 - 三段跳 第1位 齋藤琴音
- 彼らに加え8名が関東大会出場へ！



◆新入生、宿泊研修へ臨む。

一年生の各クラスを2班に分け、梅田野外活動センターと東毛少年自然の家の二カ所で行われるこの宿泊研修は、グループエンカウンターや野外炊飯などの各種レク活動をとおして過ごす1泊2日の研修です。

研修の目的は、いわば心の壁の解体工事。研修を終え、自ら創った心の壁がなくなった今、彼らの心にはどんな新しい風が吹いていることでしょう。



オブジーボ

京都大学の^{ほんじょたすく}本庶佑 名誉教授がノーベル医学生理学賞したことは私たちの記憶に新しい。がん細胞と闘う免疫細胞の活動を弱めてしまうタンパク質を発見し、そのタンパク質の働きを^{そがい}阻害することで行う、がんの免疫療法を可能にしたというのが受賞の理由である。阻害薬として登場した「オブジーボ」という薬品名も世に知られるものとなっている。

ご存じの方もいるだろうが、免疫療法によってがんを治療しようとする試みはこれまでもあった。「丸山ワクチン」や「蓮見ワクチン」がそれである。これらについては、一定の効果が確認できるケースはあるものの、その治療法を医学界が^{こぞ}挙げて認めるまでには至っていない。そして、新薬オブジーボも、有効率という点に限れば20パーセント強であり、がんという病が一筋縄でいかないことを物語っている。ともあれ、今回の新発見によって、がん治療は、他の医療や科学の進歩と相まって、新しい展開を見せていくだろう。

ところで、気になったことがある。それは「免疫細胞の働きを弱めてしまうタンパク質」の存在だ。このタンパク質は、免疫細胞のように人体を守ることをせず、逆に、人体へのダメージを大きくすることに貢献しているのだ。そういうタンパク質が存在することは、神のみぞ知る生体の仕組みである、というのが結論になるのだろうが、免疫細胞と同じく人体を^よ振り^{どころ}所にして存在しているにもかかわらず、自分たちを含む多くの細胞の共同住宅を崩壊させようとするとは何事だ、という気持ちを禁じ得ない。

しかし、そんな気持ちをこのタンパク質たちにぶつけても、我々は生体の仕組みに従って、あるがままに振る舞っているだけで、と反論されるに違いない。問題意識を持たない彼らに対して周囲への配慮を求め続けても、理解を得るまでには至らないだろう。遺伝子

のゲノム解析を根拠にするまでもなく、「三つ子の魂百までも」という^{おびただ}夥しい数の臨床に裏打ちされた^{ことわざ}諺がある。

^{ひるが}翻って、このタンパク質に関する事象には大きな教訓が示されていると思う。私たちは、時として免疫細胞の苦悩をないがしろにして、がん細胞を増大させてしまうような行為をしていないだろうか。事の^あ重大さや深刻さを十分に認識できないまま、^あ悪しきものの存在を容認し、組織を弱体化に導くような対応をしていないだろうか。私たちは、『三国志』にある「泣いて馬謖を斬る」を手本としなければならない。守らなければならないものが何であるかは^{じめい}自明のことなのだから。

皆さんの身近なところでも、^{しか}然るべき立場の人による「英断」という新発見が、^{かきゅう}火急のこととして^{かつぼう}渴望されているような気がする。

常勤講師 鈴木 孝



七月の法語

子育ては 自分育て

六月の法語

おもてなしとは

裏もないと言うことです

一貫校 中学校 だより

◆言葉は、心の栄養 大切にしたい 思いやりの心

私たち人間は、老若男女問わず、だれもが弱点、欠点、もろさをもっている。その人間同士が日々の生活の中で時には対立し、また、共鳴して、互いに支え合い、分かち合っている。思いやりというのは、人間として平等な立場で相手のことを深く考え、何をしてあげるのがよいのか、何をしてはいけないのかを考えることである。そして、ともに支え合っているという連帯感から生じる人間らしい温かい心であり、行為である。

「思いやり」って？

一つには、人を不幸にしないこと。

人に嫌な思いをさせない、人を傷つけるようなことをしない、・・・ etc

一つには、人を幸福にすること。

人にやさしくする、人を喜ばせる、人のためになることをする、・・・ etc

一般的には、前者の思いやりだけでいいのかもしれないが、自分が大切にしたい人に対しては、後者の思いやりも大切である。では、「思いやり」をもって人に接するためには、どうしたらよいのだろうか？

ありがとう おじさん

(モラロジー研究所発刊 ニューモラル NO.458 より)

中学生の頃 家が貧しくて 新聞配達をして とばしい家計を助けていた
雨が激しく降る朝 新聞が濡れて ある家で 奥さんから
「こんなに濡れては読めないじゃないの」と 叱られた
すると 後から出てきたご主人が
「乾かして読めばいいじゃないか」と きつい口調で奥さんに言う
と「たいへんだね ご苦労さん」と やさしくほかに言った
つめたい雨が降る朝 体の疲れも 心の疲れも ふぎとんで
目の前が急に明るくなった ありがとうおじさん
あの朝のこと 今でもよく覚えています

みなさんは、左記の詩を読んでどんな感想を持たれるだろうか？

私たちは、日頃たくさんの人と関わっている。何気ない一言で人を傷つけてしまったり、何気ない気遣いで勇気や元気をもらったりしていることも結構ある。時に、「言葉は、心の栄養」といわれることがあるが、言葉かけひとつで相手の心への響きが変わってくるといって感じってしまう詩である。心遣いや思いやりの心を言葉に表すこと

で、相手に素直な心や思いやりの心が育ち、勇気ややる気が育てられることを意識して、教師も親も生徒と関わっていききたいものである。

(副校長 澁谷和郎)

◆輝け45名の新入生 入学式より

4月9日、入学式が行われ、19期生45名が樹徳生の仲間となりました。

緊張しながらも、毅然とした態度で入学式に臨む生徒の様子から、「これからがんばるぞ」という意気込みを感じ、とても頼もしく思いました。新しい環境となり、不安や期待が渦巻いていることと思いますが、新しい環境はいろいろなことに挑戦できる、新しい自分を発見できるチャンスともいえます。生徒一人ひとりの挑戦を、周りのみんなが温かく見守ったり、応援できたりするそんな関係ができれば素敵だなと思っています。生徒一人ひとりの成長を願って、学校と家庭との連携・信頼関係を大切にしていきたいと思います。

ここで、19期生が入学にあたって立てた目標をいくつか紹介します。

- ・「学習と部活動を両立させたい」
- ・「多くの友達を作りたい」
- ・「元気な挨拶と大きな返事をする」
- ・「何事にも挑戦する」
- ・「音楽部に入ったのでトランペットが上手に吹けるようになりたい」

- ・「友達や先輩方との人間関係を大切にして楽しめたらいいなと思います。」
- ・「手伝いを率先してやる」
- ・「卒業までに本を200冊以上読む」
- ・「中学生生活は一度きり。思いっきり楽しむ」
- ・「何事にも日々、全力を尽くす」
- ・「物を大切に扱う」
- ・「この中学校生活を通して少しでも自分の夢や目標に近づきたい」



幼稚園だより

◆「平成から令和へ！新たに「スタート」」

ゆく時代、くる時代が入り混じった10連休が明け、令和の時代を気持ちも新たにスタートしました。入園・進級して早2ヶ月。すっかり園生活に慣れた子どもたちは笑顔が増え、教室や園庭にはにぎやかな声が響き渡るようになってきました。2歳児から年長さんまでが、笑顔いっぱいに登園し楽しい毎日を過ごしています。日中は日に日に暑くなり、休み時間が終わると「もっと遊びたかった～」と、汗びっしょりの顔で、あっという間に過ぎてしまった時間に不満そうですが、その顔は充実感でいっぱいです。



裏山の散歩—満3歳児すみれ組—

◆「意欲につながる幼児期の遊び」

「遊ぶことは学ぶこと」。楽しい遊びの中で、新しいことを発見し、友だちとの対話を通して自分の考えを深める。子どもにとっては、そのことが楽しくておもしろいのだと思います。おもしろければ時間はあっという間に過ぎてしまいます。いろいろなことを「面白い」「楽しい」と意欲的に



花祭り (大善寺)

感じる力ができる力を育てることが、義務教育等において勉強が楽しくできる基本と考えています。そのため、園生活において遊びの時間を確保してやることを、先生方と話し合い大事にしています。そして、意欲を感じる力が一番身につくのが幼児期の遊びです。子どもたちは、主体的な活動としてのワクワク体験や、疑問を持って調べ、試し、試行錯誤したり、友だちとたくさん笑い、楽しく面白い経験をすることで、勉強も含めたさまざまなことに、前向きに意欲的に関わるようになります。私たち保育者にとっては、楽しいこと、面白いことを自分たちで見つけられるように、見守り支援していくことが大切になります。楽しい、面白いと思うことは、何事においても意欲の第一歩につながり、「好奇心」「友だちと関わる力」等が身につきます。これからも遊びの時間を確保し、意欲的に取り組める力をしっかり育てていきたいと思っています。



第1回「お誕生会」

◆「節目の瞬間と感動」

6月を迎える頃になると、すみれ組(満3歳児)、もも組(年少)に新しく入った子どもたちが、「おしっこができたよ!」「初めてトイレでしゃがんでうんちができたよ!」と、うれしそうな顔をして園長室に飛び込んできます。その子の育ちにとっての節目の瞬間で、大事な人に見てほしいと感じる大切な瞬間でもあり、誰もが通る道でもあります。このような節目の瞬間は、家庭においても、初めての寝返りや、はいはい、はじめの歩など、たくさんあると思いますが、園生活の長時間化により、家庭よりも園で生まれることの方が多いかもしれません。そんな節目の瞬間に立ち会えることへの幸せと、これらの瞬間を家庭と共有し、子どもの自信につなげていきたいと思っています。保護者の皆様はじめ、関係皆様のご支援ご協力、よろしくお祈りします。

○入園見学会 7月7日(日) 10:30~樹徳幼稚園

◎ 樹徳幼稚園の教育・保育についての説明や、自然に恵まれた環境、施設等を見学していただきます。

園児募集

『2歳から樹徳の幼児教育(保育)を!』入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名 年中 10名
満3歳児 10名 年長 若干名
3歳児 20名 ※2歳前のお子さんにも相談に応じます。

○入園受付: 1年を通して随時受付・随時入園できます。

○見学・参観はいつでもできます。お待ちしております。

6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	更衣 英語検定①一次	更衣 英検(2~3級一次)午後	衣替え
2	日			
3	月	LHR 夏服指導 前期教育実習開始	前期教育実習開始 服装頭髪指導	教生受入(~21日) リズム
4	火	防火避難・初期消火訓練① 検尿② 日中高連常任理事会		避難訓練(不審者)
5	水	授業料納入日 マイトリー基金抛金日 県校長会 3年進研マーク模試(~8日)	中学校授業参観日① マイトリー基金	県・群私幼主任研修会 英語・文字(年長)
6	木	歯科検診④	耳鼻科検診(1年)	体育・文字(年中)
7	金	内科検診④ 県高P連総会(~8日) 宗門校長会(~8日)		プール開き
8	土		校内弁論大会	茶臼山親子登山(10:00~13:00)
9	日			
10	月	朝礼		代休(茶臼山親子登山) 預かり保育 保育料納入日
11	火	後援会執行部会 後援会地区連絡委員会 後援会役員会① 後援会新旧役員懇親会		読み聞かせ
12	水			群私幼PTA連合会理事会 英語・文字(年長)
13	木	歯科検診⑤ 私学振興会運営理事会		体育・文字(年中)
14	金	交通安全マナーアップ運動① 漢字検定①	交通安全マナーアップ運動① 漢検①	園外保育(昆虫の森)
15	土	GTEC①(1~3年進学クラス+希望者)	GTEC①(高校)	
16	日	ペン字検定① 大学見学バスツアー(横浜国立大学)		
17	月	LHR 検尿(予備) 3年J組三者面談(~21日)	尿検査予備日	教生受入(~16日) リズム
18	火	内科検診⑤ 七都県高等学校進学問題協議会		ジャガイモ掘り
19	水			お茶のお稽古② 英語・文字(年長)
20	木	樹の根の会総会	早朝自主学習(~7/1) 歯科講話(1年)	県教育課程研究協議会 体育・文字(年中) 市事務連絡会議
21	金	関東地区私学保護者会連合会理事会(宇都宮)	論理文章能力検定	
22	土	1・2年ベネッセ総合学カテスト	学校見学会② 数検①(午後) 後援会懇親会 中学生登校日 卒業生による生き方教室	開園記念日
23	日			
24	月	朝礼 食育の日		リズム
25	火	制服アフターサービス 中学校長会進路指導部との連絡協議会(生涯学習センター)	三越アフターサービス	ひよこ・すみれ組保育参観 ボール投げ教室(年中・年長) 読み聞かせ
26	水	大掃除 北関東初任者研修(~28日)		もも組保育参観 英語・文字(年長)
27	木	期末試験(~7/2)	期末試験(~7/2)	さくら組保育参観 体育・文字(年中)
28	金	市街地清掃 出欠統計提出		たけ組保育参観
29	土			
30	日	英語検定①二次		

※ 3日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

6・7月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」 主催 野村ナナ子さん
6/6(木)、6/20(木)、7/4(木)、7/18(木)
- (2) 七草ゼミナール塾 主催 上野文雄さん
6/18(火)、7/23(火) 予定
- (3) 樹妙会役員会 6/13(木) 18:00~



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

7月(正業)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	月	期末試験(6/27~7/2) 求人受付開始 浄土宗奨学生等募集 教科書採択 職員健康相談	頭髪服装指導 期末試験(6/27~7/2)	リズム
2	火	野球部壮行会		幼交連交通安全教室
3	水	マイトリー基金抛金日 県校長会	マイトリー基金抛金日	英語・文字、数(年長)
4	木	球技大会抽選日		体育・文字、数(年中)
5	金	授業料・第1回諸費・校外学習代金納入日 健康診断予備日(桐工)	中学3年生保護者会	七夕祭り
6	土	高校野球夏季大会開幕 3年進研学力記述模試 3年学研VSP・P②	中学1・2年生保護者会	
7	日	海外科学研修出発		入園見学会・説明会(読み聞かせ 西山先生)
8	月	朝礼	お役に立とう週間②	リズム
9	火	日私中高連常任理事会		読み聞かせ
10	水		イブニングスクール(～12日)	保育料納入日 英語・文字、数(年長)
11	木	担任宛成績提出 関東高P連総会(大宮)		体育・文字、数(年中)
12	金	教務宛成績提出 関東高P連大会(埼玉～13日)	球技大会	「お誕生会」6・7月生まれ
13	土			
14	日			
15	月	海の日		群私幼就職説明会(高崎ビッグキューブ)
16	火	校内球技大会 海外科学研修帰国 1学期出欠統計提出 1学期出欠締切	校内球技大会	ボール投げ教室③
17	水	制服アフターサービス	ミニマナーアップ運動 三越アフターサービス	英語・文字、数(年長)
18	木	学年別一斉指導 成績会議 日本私学保護者連合会総会・研修会(福岡市)	校内英語スピーチコンテスト	体育・文字、数(年中)
19	金	終業式 大掃除 I T S 研修①	終業式 大掃除	1学期終業式 年少・年少々保護者園内清掃 お泊まり会①(年長)
20	土			お泊まり会②(年長) 夏季休業(～8/26)
21	日			
22	月	夏季休業開始 夏季課外講習開始		夏休み預かり保育① 新採用研修会中期Ⅰ・Ⅱ(～23日)
23	火	I T S 研修②		夏休み預かり保育②
24	水			夏休み預かり保育③ バス運転手講習会
25	木			夏休み預かり保育④ 夏季研修(初級)～26日
26	金	私学教員適性検査委員会(高崎商科) 3年河合塾全統マーク模試(～27日)		夏休み預かり保育⑤
27	土	インターハイ開会式(鹿児島) 全国高等学校総合文化祭(～8/1)		
28	日			
29	月			夏休み預かり保育⑥
30	火			夏休み預かり保育⑦ 新採用研修会中期Ⅱ～8/1
31	水	3年就職ガイダンス②		夏休み預かり保育⑧

※1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。

※8月1日(木)は中学校・高等学校は登校日となります。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく